

めざす姿

1 めざすまちの姿

なごや子どもの権利条例の理念に基づき、すべての子どもが、自分自身が持っている力を 信じることで、その力を伸ばしながら育っていけるよう、子どもの権利を保障するとともに、子 どもの視点に立ち、子どもとともに最善の方法は何かを考え、子どもの健やかな育ちを社会 全体で支援するまちをつくります。

(1)子どもの権利への理解を深め、子どもの権利を守る文化を育むまち

子どもの権利は、すべての子どもが生まれながらに持っている日常的な権利であるという意識を社会全体で醸成し、子どもの権利を守る文化を育むまちをめざします。

(2)子どもの主体性を重視し、子どもの幸福感を大切にするまち

子ども自身が考えや思いを表明し、その声にしっかりと耳を傾け、子どもの主体性を重視することで、子ども自身の主観に基づいて子どもが「幸せである」と感じながら暮らせるまちをめざします。

(3)子どもの発達などを考慮しながら、子どもの成長を支えるまち

子どもが発達していく中で、自分に権利があることを知った上で、同じように他人にも権利があるということを知り、お互いを尊重しながら、社会の中で協力し合って人間的に豊かな生活をおくる大人へと成長することを支えるまちをめざします。

(4)子どもと関わり育てることに喜びを感じられるまち

子ども自身の育つ力を大切にしながら、身近な場所で必要な支援が受けられ、安心して、 喜びを感じながら出産や子育てができるよう、地域のさまざまな人たちのつながりをいかし、 社会全体で子どもを育てていくまちをめざします。





2 めざす姿

本計画における対象それぞれの10、20年後における望ましいあり方を「めざす姿」として示し、その実現に向け計画を推進していきます。

(1)子ども

安心して健やかに育ち、他を思いやる心を持ち、豊かな人間性と創造性を備えるとともに、 肯定的な自己概念を形成し、物事を考え、自分らしさを表現することができる子ども

(2)若者

自分の居場所を得て成長するとともに、主体的に社会に参画し、他者と共生しながら、日々の生活において幸せを実感できる若者

(3)子育て家庭

保護者が仕事と家庭生活のバランスをはかりながら、子育てをすることに喜びを感じ、子どもが安心して生活し、健やかに成長できる家庭

(4)社会

子どもの最善の利益を実現するため、社会全体で子ども・若者・子育て家庭を支えること により、子どもを安心して生み、育てることができるとともに、個人の多様性を認め合う魅力 にあふれる社会



3 成果指標

本計画の計画期間である令和7年度から令和11年度までの5年間に、めざす姿にどれだけ近づけたかを評価するため、「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」及び「令和5年度市政アンケート」の結果を踏まえ、成果指標と5年後に達成すべき目標値をそれぞれ設定しました。

(1)子どもにかかる成果指標

成果指標	現状値	目標値
① 自分のことを好きと答える子どもの割合	75.6%	86.0%
② いろいろなことに積極的に挑戦できる子どもの割合	69.5%	77.0%
③ まわりの子の意見を大切にしながらも、自分の意見を言える子どもの割合	55.1%	66.0%
④ 今の生活に満足している子どもの割合	83.7%	95.0%以上

(2)若者にかかる成果指標

成果指標	現状値	目標値
① ほっとできる場所、居心地のよい場所がある若者の割合	93.9%	97.0%
② 5年後の自分に幸せなイメージを持っている若者の割合	46.1%	60.0%
③ 他の人に必要とされていると感じる若者の割合	68.5%	71.0%
④ 社会のために役に立ちたいと思う若者の割合	93.2%	96.0%

(3)子育て家庭にかかる成果指標

成果指標	現状値	目標値
① 保護者が子育てを通じて幸せを感じた割合	80.3%	85.0%
② 子育てに関する悩みや困りごとを相談する相手や場所がある保護者の割合	87.9%	91.0%
③ 仕事と家庭生活のバランスに不満のある父親の割合	47.3%	35.0%
④ 仕事と家庭生活のバランスに不満のある母親の割合	34.4%	24.0%

(4)社会にかかる成果指標

成果指標	現状値	目標値
① 子どもにとって大切な権利が保障されていると感じる子どもと保護者の割合	78.1%	81.0%
② 子ども・子育てに関わる活動に参加したことのある市民の割合	35.9%	47.0%
③ 地域の人が子育てを温かく見守ってくれていると感じる保護者の割合	26.7%	36.0%
④ 名古屋市の子ども・子育て支援策に満足していない保護者の割合(10 項目の平均)	29.5%	23.0%



